



この一般質問の映像は  
こちらから



竹原 亜生

質問

## ヘルパーの待遇改善は

### 町 介護保険基金が使えるか調査する

問

新型コロナウイルスの影響で、在宅で過ごす高齢者が増えているため、ヘルパーの支援体制整備が欠かせない。基金を活用しての待遇改善は。

答

(保健福祉課長) 介護保険に財政調整基金が使えるか調査する。

問

高齢者の社会参加により、健康寿命の延長、生産世代の負担軽減となる。高齢者の社会参加促進策は。

答

(保健福祉課長) 社会参加の意識高揚を図るとともに、シニアクラブなどへの参加促進を図る。

問

練馬区は包括支援センター職員が高齢者宅を訪問し、適切な支援につなげた。町での一人暮らし高齢者等の訪問支援事業は。

答

(保健福祉課長) まずは包括支援センターを増設し、体制強化を図っていくことが重要と考える。

問

※成年後見人制度利用促進のため、地域連携ネットワークの中核機関連備と計画策定は。

答

(保健福祉課長) 令和3年度中の設置を目指し、計画策定に向け進めている。

#### 練馬区の高齢者訪問事業

| 東京都練馬区「高齢者訪問支援事業」 |  |
|-------------------|--|
| 目的                | 生活に課題を抱えながら、適切な支援を受けていない高齢者が多いため                                     |
| 対象者               | 介護サービスを受けていない、一人暮らし・高齢者のみ世帯で、対象者は2万人(高齢者の13%)                        |
| 内容                | ・生活実態を把握し、その人にあった必要な支援につなげる<br>・令和元年は、13,000件訪問し、8,800件(2/3)の支援につなげた |

※成年後見人制度：認知症などの脳障害及び精神・知的障がいなどの理由により、自己判断能力の不十分な方々をサポートしていくための制度。

#### 平山町政について

質問

## 町長残り任期1年の取り組みは

### 町 持続可能な町政運営

問

平山町政3年間の評価は。

答

(町長) 概ね順調な町政運営を行っている。地区別新生再生計画の推進、県内トップクラスのICT教育の実現、学校のエアコン設置などを行った。

問

今後の1年間でやるべきことは。

答

(町長) 新型コロナウイルス感染症や税収減の中で持続可能な町政運営の基礎を作る。事務事業の見直しをはじめとした行政改革を進める。

問

新型コロナウイルス感染症対策の評価は。

答

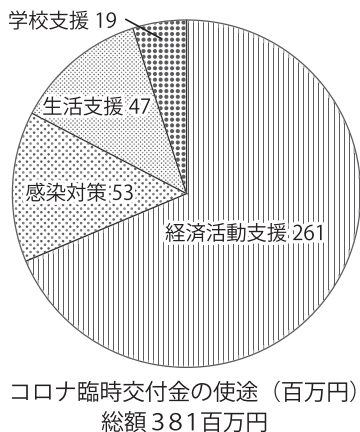
(町長) 感染拡大防止の呼びかけ、事業所への業種別ガイドラインの周知、生活支援などの各種支援策、30以上の事業を展開し、国の臨時交付金3.8億円を適正に執行した。

問

広域連携事業の取り組みは。

答

(町長) 北那須3市町広域連携推進検討会で広域公共交通網、広域公園利用について検討を進める。



※ほかに、「行政財政改革推進プランについて」の質問もしています。